令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-007

PDCA	事務事業名	母子健康増進事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 母子保健担当	担当 内線等	榊原晶 84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 3. 健やかな子と親の育ち					
		単位施策： (1) 安心して安全な妊娠・出産への支援					
	根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					
	対象・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦や子育て中の家族が安心して育児ができる。 ・妊婦や子育て中の家族が育児に悩んだ時に、相談・支援を求めることができる。 ・妊婦や子育て中の家族が地域に相談できる人がいる。 ・不妊治療をしている夫婦の経済負担を軽減する。 					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から必要な母子に専門職が電話や家庭訪問支援をする。 ・産後まもない母の身体的、心理的負担を軽減させるため、産後ケア事業を実施する。 ・出生2か月目の乳児のいる家庭に民生・児童委員が全戸訪問する。 ・パパママ教室、離乳食講習会、健診事後教室(たんぼぼの日)等講習会を開催する。 ・不妊治療をしている夫婦に対して治療費を一部助成する。 ・乳幼児を含む一般市民に歯科健康診断、相談指導、フッ素塗布を実施する。 					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握済み	100	100	100	%	
		②たんぼぼの日参加人数	141	164	227	人	
		③不妊治療費助成申請受理件数	70	75	71	組	
		事業費	3,366	3,640	3,460	千円	
		人件費	9,700	5,361	6,219	千円	
		総事業費	13,066	9,001	9,679	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①こんにちは赤ちゃん訪問1人当たりコスト	1,665	2,860	2,932	円		
	②たんぼぼの日1人当たりコスト	8,902	18,621	14,916	円		
	③不妊治療費助成1組当たりコスト	39,080	44,280	48,785	円		
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握率	実績値	100.0	100.0	100.0	%
目標値			100.0	100.0	100.0		
②たんぼぼの日 親の意識変化率		実績値	77.9	87.9	83.0	%	
		目標値	80.0	80.0	80.0		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	<p style="text-align: center;">B</p> <p>母子手帳交付時から保健師による面接を実施し、妊娠期から切れ目ない支援を実施するために電話や家庭訪問が実施できた。また、産後まもない母の身体的・心理的負担を軽減させるため、新たに産後ケア事業を実施し助産院による産後の育児ケアと母体の心身ケアが実施できた。「こんにちは赤ちゃん訪問」は、民生・児童委員と連携し、把握済み率100%を継続達成できた。「たんぼぼの日」では、母が主体的に教室に参加できるように、適宜内容を変更し、参加者に合わせて対応したことにより、保護者の意識変化率の目標を達成することができた。「不妊治療費の助成」は市報、ホームページ等で事業について周知を図った。 ※平成29年度から活動実績に挙げた3事業のみの人件費で評価</p>						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">改善推進</p> <p>産後ケア事業について、対象者のニーズに応じて利用できる事業所を選択できるように実施事業所を増やす。乳幼児健康診査データで家庭における生活習慣が子どもの発達にも影響があることが分かった。そのため、1歳前に子どもの成長発達を促す生活習慣について保護者に伝える1歳デビュー教室を新規事業として開催する。また、「こんにちは赤ちゃん訪問」について、今後も把握率100%が継続できるように実施していく。「たんぼぼの日」では、参加母子の傾向を適切に把握し、母が児とのかかわりにおいてヒントが得られるように、適宜検討・変更し、教室を開催していく。</p>					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握率	100	%			
		②たんぼぼの日 親の意識変化率	80	%			